

とやま探究学習サポーター「クエストリスト」

R7. 6. 30現在

No.	企業名・法人名・大学名等	高校生に提示する探究活動のテーマ	テーマ設定に関する課題（テーマ設定の背景等）
1	富山県庁 ①働き方改革・女性活躍推進室 ②ジェンダーギャップ対策課 ③城端線・氷見線再構築推進課	<p>①富山県は若者、特に20～24歳の女性の県外転出が多いのは何故か？</p> <p>②家事・育児は女性がすべきといった性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、多様性のある社会を目指すにはどうすればよいか？</p> <p>③便利で快適になる城端線・氷見線をより多く利用したくなるまちにするため、高校生をはじめとした沿線の関係者（住民・最寄りの店舗、企業など）のみなさんにできることは何か。 高校生のみなさんが城端線・氷見線を使って学校に通いたい、遊びに行きたいとなるには、駅や駅周辺にどんなサービス・施設等があったらいいか。 高校卒業後も日常的に使いたいと多くの人に思ってもらうため、城端線・氷見線への愛着を高めるにはどうしたらいいか。</p>	<p>①富山県にも女性が活躍できる業種・職種や働き方がたくさんあること知ってもらい、富山県が就職先の選択肢の1つとなってほしい。</p> <p>②無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）は誰にでもあることから、それに気づこうとする意識が大切であることを知ってほしい。</p> <p>③城端線・氷見線が、将来にわたり持続可能な路線となるために、活性化の取組みについて、自分事として考えてほしい。</p>
2	三菱ふそうバス製造（株）	<p>1. 若者に魅力があり、長く働きたいと思ってもらえる企業となるために取り組むべきこととは？（労働環境、知名度等）</p> <p>2. 今後、人々に求められるバスとは？（バスの性能・仕様、バスを使った新規事業等）</p> <p>3. 女性が活躍できる工場とは？</p> <p>4. 地方の過疎化、少子高齢化が進む中で、バスの運行を継続的に進めていくために取り組むべきこととは？</p>	<p>1. 少子高齢化社会、当社の知名度の低さなどの要因により、人材の確保が難しくなっている。良い人材を確保していくために、魅力ある会社、知名度の高い会社を目指していきたい。</p> <p>2. バスはお客様の要望による、オーダーメイド生産である。様々な性能、仕様、使われ方をしている特徴があるが、様々な視点から人々に求められるバスを考えてもらい、バスについてもっと知ってほしい。</p> <p>3. 当社（製造業）は女性の割合が低い。女性にとって働きやすい環境、活躍できる工場を作り、女性が活躍しやすい職場にしていきたい。</p> <p>4. 当社はバス製造を行っている会社だが、バスが減便することで受注への影響が考えられる。地方の過疎化、少子高齢化、さらにはバスドライバーの時間外労働の上限規制（2024年問題）と厳しい状況の中で、バスの運行を継続的に進めていくために取り組むべきことについて考えてもらい、バス業界についてもっと知ってほしい。</p>
3	三菱ケミカル（株） 富山事業所	<p>1. 事業所のイメージである桜を使って事業所PRおよび地域貢献につながるイベントを提案せよ。</p> <p>2. 事業所の福利厚生施設（食堂・体育館など）を使い、従業員満足度向上および地域貢献につながる企画を提案せよ。</p> <p>3. 製造工程において出る製品端材（廃薬品など）の別の利用用途（例えば端材を使った工作など）を検討せよ。</p>	<p>弊社は近隣に住宅地のある化学製造メーカーです。 地域の皆様に安心していただける事業活動を行うためには地域の皆様とのコミュニケーション（地域貢献活動）は欠かすことができません。 また、弊社のみならず現在若い方の”化学離れ”や製造業（交替勤務など）への就職希望者も減少しており、人手不足が懸念されております。 地域貢献活動を通して、少しでも化学に興味を持っていただきたい、三菱ケミカルを知っていただきたい、そんな思いを形にできるような活動のアイデアをいただければと考えています。</p>
4	（株）久郷一樹園	これからの公園に期待するものとは？	<ul style="list-style-type: none"> 公園を利活用する為に、施設として今後望むものは何か？ 既存の公園の駄目な点はどんなところか？ こんな公園があったら良いと思われる具体的な内容
5	ミュキ化成（株）	少子高齢化社会の中でどうやってものづくりを継続していくか。	<ul style="list-style-type: none"> 少子化により人材の確保が年々難しくなっていると感じており、今後どのような形で事業を継続発展させられるか？ また若い人に選んでもらえる企業となるにはどのようにアピールしたらよいか？

とやま探究学習サポーター「クエスリスト」

R7. 6. 30現在

No.	企業名・法人名・大学名等	高校生に提示する探究活動のテーマ	テーマ設定に関する課題（テーマ設定の背景等）
6	(株) エムダイヤ	<p>1. BtoB企業である弊社を、より多くの方に認知してもらうための情報発信について考え、企画書を作成する。</p> <p>2. SDGsの視点から、弊社の機械装置や技術がどのような社会貢献につながっているか調査し、新たな事業展開のアイデアの提案資料を作成する。</p>	<p>1. 弊社は、企業間同士でビジネスを行うBtoB企業で、リサイクルを行うための機械設備を企業向けに製造販売しています。生活の中で使う日用品を製造している企業や、誰もが利用できる店舗を持っている企業とは違い、認知度はあまり高くありません。弊社をもっと一般の皆様を知っていただきたいの思いから、テーマを設定しました。</p> <p>2. 弊社の機械装置は、資源のリサイクルに役立っていますが、資源の再利用ができることは、SDGsの視点で見たときに、どのゴールとの関連があるのか、あらためて整理したいと考えています。また、弊社の機械装置を用いて、「このようリサイクルができるのでは?」「こんなことができれば面白い!」など、ビジネスとしての価値のある新しい発想を共有できればと思い、テーマを設定しました。</p>
7	(株) タイヨーパッケージ	働く上で最も必要な『力』とは何か?	<p>日々の学習について、何のため学ぶのだろう? 将来何の役に立つのだろう? と疑問をもっている中高生は少なくないと思います。</p> <p>当社の探究学習を通して、仲間と一緒に「働くとは何か」そしてそのために「必要な力とは何か」を考え、今後の学が意欲向上と価値観の変革に繋がればと考えています。</p> <p>商業科、工業科、普通科等々、全科クラス単位で受け入れ可能です。</p>
8	タワー パートナース セミコンダクター(株)	<p>1. 中学生の「半導体って何?」の疑問に回答せよ! (理系向け)</p> <p>2. 半導体エンジニアを目指す学生を増加させよ! (文理共通)</p> <p>3. 外資系企業で働くイメージをしてみよう! (文系向け)</p>	<p>1. 私たちの身近にたくさんあるのに、普段目にすることがなくて、よく分からない存在。そんな半導体の特徴や性質、動作原理等について、中学生にも分かるようにまとめてください。</p> <p>2. 半導体市場が成長を続ける中、日本では半導体人材の不足が課題となっています。もっと半導体産業に興味・関心を持ってもらうためには、どこに課題があって、その解決にどんな取組みが必要か、ぜひ学生目線で提案してください。</p> <p>3. 弊社は外資系企業になって10年が過ぎました。外資系企業のメリットやデメリット、日系企業との違い等をまとめ、外資系企業で自分が働くイメージを具体的にしてみましょう。</p>
9	(株) HARITA	<p>1. 環境に優しい製品開発! 弊社が取り組むべきSDGsへの貢献とは?</p> <p>2. 若者が選びたくなる企業文化を考えよう!</p>	<p>1. 弊社の製品や技術がどのようにSDGs(持続可能な開発目標)に貢献できるかを探り、新たな製品や事業案を考えてほしい。</p> <p>2. 弊社の企業魅力を高めるために、働きやすい環境づくりや若者へのPR方法を企画してほしい。</p>
10	合同会社となみ野建築	<p>1. 未来に向けて日本の伝統技術を継承していくための方策を考える。</p> <p>2. 木組みの技術への理解を深め、広く周知するにはどうすれば良いか。</p> <p>3. なぜ木を組むのか</p>	<p>失われていく日本の伝統技術と世界遺産に登録された木組み技術の再発見</p> <p>日本の伝統的工法の1つ「木組み」はユネスコ無形文化遺産に登録されており、日本に古くから伝わる世界に誇る建築技術です。</p> <p>日本人は法隆寺が建立された1300年もの昔から「木を組む」ことにこだわってきました。</p> <p>しかし、木組み技術を持つ後継者不足が深刻化し、いずれは技術が失われてしまうのではないかと課題があります。</p> <p>そこで、この伝統技術を後世に伝えていく方策と、木組みの技術の素晴らしさを多くの人に広く伝えるにはどうすれば良いのかを、当社での技術体験も踏まえて企画してください。</p> <p>故きをたずねて新しきを知り、それによって将来の糧となり得るような体験、記憶に残るような体験が出来れば理想的です。</p>
11	(株) トンボ飲料	トンボ飲料が取り組むべき新規事業とは?	<p>トンボ飲料は来年創業130年を迎えます。現在当社は順調に売り上げを伸ばしていますが、いつ何が起こるかはわかりません。社会の変化スピードが非常に早くなっている中で、会社にとって次の50年、100年の柱になるような新規事業の創出が必要です。</p>